

大阪湾再生行動計画（第二期） 令和五年度の取り組み成果 【概要版】

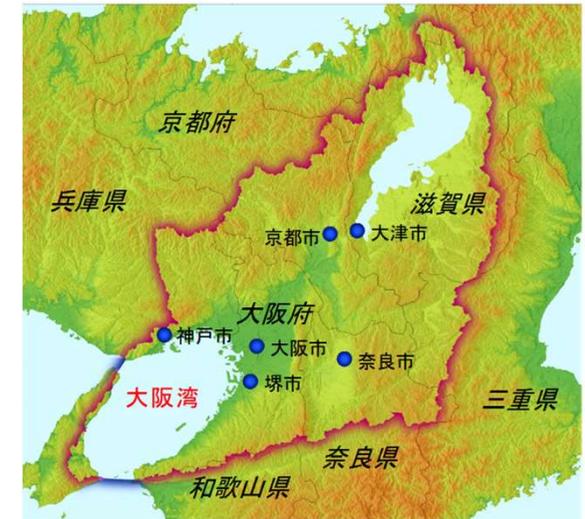
令和6年3月
大阪湾再生推進会議

背景

①大阪湾の特性

- 2箇所の湾口(明石海峡(4km)、紀淡海峡(7km))を持つ閉鎖性の高い海域(海域面積:1,450km²、平均水深28m)
- 大きな人口・産業集積を有する集水域を抱える(集水面積11,200km²、人口1,746万人(平成25年度時点))

➡ 陸域から大量の汚濁負荷が流入するとともに、外海との海水交換がしにくい地形から、富栄養化による水質の悪化や、生物生息環境の悪化が生じやすい。



集水域界
大阪湾とその集水域

②第一期計画の評価と課題

【最終評価(総括)】

- 湾口部～湾央部では、水質改善が進んでいるものの、栄養塩不足の声もあり。
- 湾奥部は、汚濁の改善がみられず、貧酸素状態もみられる。
- 施策の効果とみられる変化あり。(汚濁物質濃度の減少、再生された干潟等での生物生息など)
- 森・川・海の住民参画による取り組みへの参加者が増加するとともに、環境にふれあう場が拡大。



【課題】

- (1) 多様な生物の生息・生育
 - 特に湾奥部において、底層DO改善のための取り組みの強力な推進が必要。
 - 生物の生息・生育場については、今後も積極的な整備を進めていくことが望ましい。
- (2) 人と海との関わり
 - 特に湾奥部において、水質改善のための取り組みの推進が必要。
 - 親水活動の場については、今後も積極的な整備の推進を行うことが望ましい。
 - 浮遊・漂着・海底ごみについても、引き続き積極的な取り組みの推進が望ましい。

大阪湾再生行動計画(第二期)の概要

①理念

- 大阪湾の環境の改善(多様な生物の生息・生育、人と海との関わりの増大)に向けて、多様な主体の連携・参画(空間ネットワーク及び人的ネットワークの充実・強化)により、森・川・里・都市・海等の取り組みの輪を広げ、効率的・効果的な取り組みの推進を図り、大阪湾の再生とともに新しい大阪湾の創出を目指す。

②意義

- (1)多様な生物の生息・生育(生物多様性、生産性の確保)
- (2)人と海との関わりの増大(人材の育成、生活の質の向上、観光資源の創出)
- (3)空間(森・川・里・都市・海等)ネットワーク及び人的(多様な主体、各世代のつながり)ネットワークの充実・強化

③目標

森・川・里・都市・海等のネットワークを通じて、美しく親しみやすい豊かな「魚庭(なにわ)の海」を回復し、市民が誇りうる「大阪湾」を創出する

④計画期間

- 平成26年度から令和5年度までの10年間

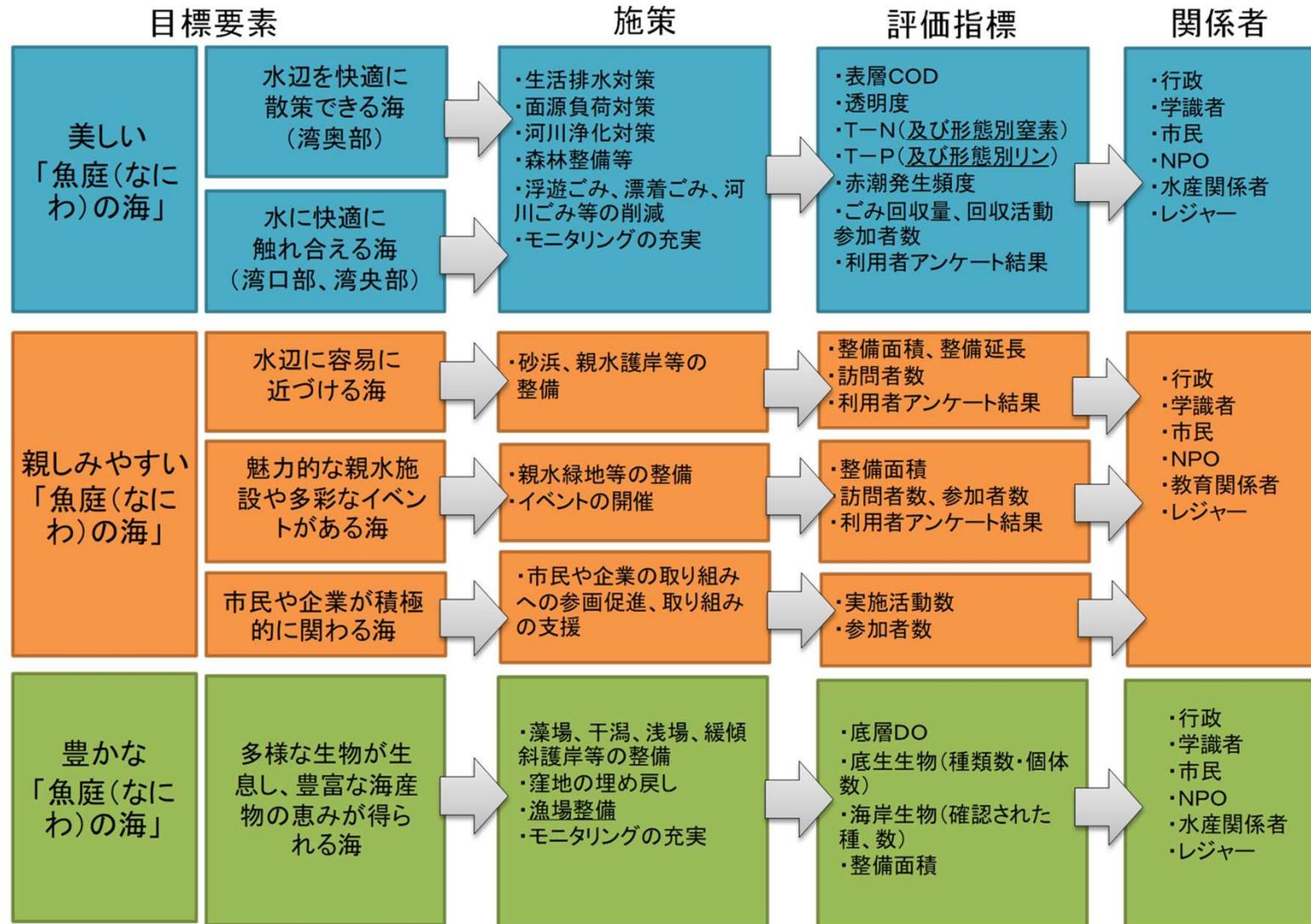
⑤取り組み体制

- 大阪湾再生推進会議において策定・推進する。
- 推進会議には幹事会を置き、幹事会にはワーキンググループ(陸域、海域、モニタリング、全体)を置く。

目標達成状況の評価について

⑥ 目標達成状況の評価について

- 目標を3つの目標要素に区分し、それぞれの目標要素を達成するための施策、施策の達成状況の評価するための評価指標、及び関係者を設定する。
- 目標達成状況は、評価指標の経年的な変化等で評価し、進捗状況を順応的に管理する。



※下線は第一期計画から追加された施策、評価指標

※大阪湾再生行動計画(第二期)に記載している「底層D0」は「底層D0」として環境基準化がなされたため、名称を変更する。

I 目標達成狀況

美しい「魚庭の海」に向けた 取り組みの状況

美しい「魚庭の海」に向けた取り組みの状況（まとめ） （その1）

取り組みの状況

1. 生活排水対策

- 下水道の普及促進、高度処理化、農業集落排水事業等により、陸域から流入する汚濁負荷を削減。
 - ・下水道普及率：86.7%（H16）→96.0%（R4）
 - ・高度処理普及率：37.9%（H16）→59.3%（R4）
 - ・農業集落排水施設整備率：79.4%（H16）→100%（R4）

2. 面源負荷対策

- 負荷削減のための計画策定・見直し、計画に基づく事業の実施。

3. 河川浄化対策

- 浄化浚渫等により、河川の浄化を実施。（琵琶湖内湖、平野川）

4. 森林整備等

- 行政や市民、企業等の参加による森林整備を実施。

5. 浮遊ごみ、漂着ごみ、河川ごみ等の削減

- 河川・海域で、行政や市民・企業等の参加によるごみ回収活動を実施。

6. モニタリングの充実

- 大阪湾再生水質一斉調査等、水質・底質・ごみの量等の各種モニタリングを実施。



美しい「魚庭の海」に向けた取り組みの状況（まとめ） （その2）

取り組みの評価結果

1. 表層COD <5mg/L以下>※

- 湾奥部：夏季に概ね5mg/L以上。
- 湾口部～湾央部：夏季に概ね3mg/L以下。

2. 透明度※

- 湾奥部：夏季に概ね2~3m程度。
- 湾央～湾口部：夏季に概ね5m以上。

3. 窒素、4. 燐※

- 湾央部～湾奥部：概ね減少傾向。

5. 赤潮の発生状況

- 行動計画策定以降年間10~29件発生。
令和4年度には赤潮が10件発生。

6. ごみ回収量・回収活動参加者数

- ごみ回収量：1,187.7t(見込み)
- 回収活動参加者数：26,897人(見込み)

※ <>内は評価指標値の目安

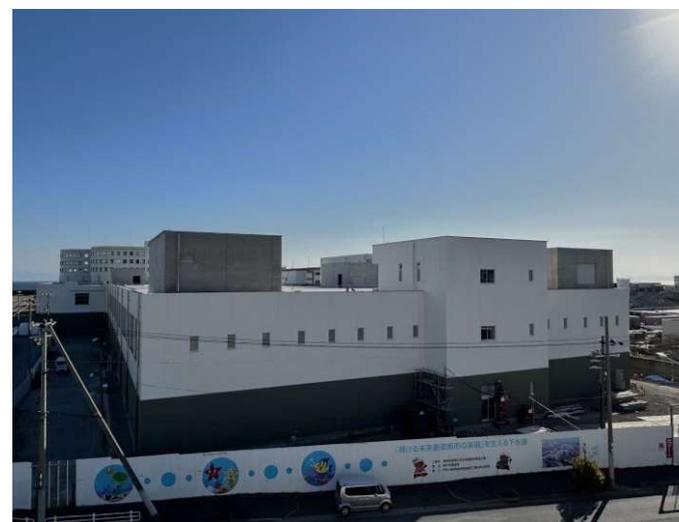
※水質データは年変動が大きいことから5年平均値を採用

取り組みの成果

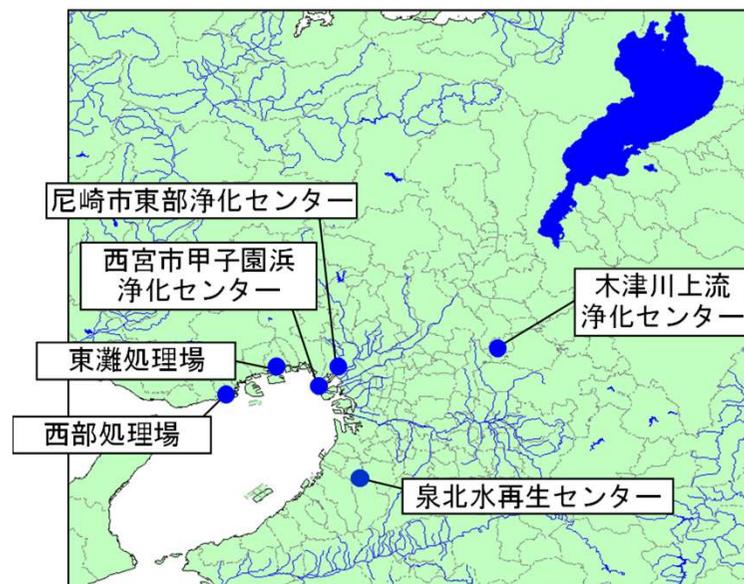
- 湾奥部では快適な散策・展望に適さないとされている水質の海域があるものの、窒素・燐は概ね減少傾向がみられる等、水質に変化がみられる。
- 湾口部や湾央部は、水質が悪化する夏季においても、散策・展望の面からは概ね良好な水質を維持している。
- 積極的なごみ回収活動の実施やマイクロプラスチックの削減に向けた検討等が望まれる。

1. 生活排水対策(その1)

- 汚濁負荷量の総量削減を実施。
 - ・ 第9次総量削減方針の推進。[環境省]
 - ・ 第9次総量削減計画の実施。第9次総量削減計画の推進。[京都府、大阪府、兵庫県、奈良県]
- 下水道の普及促進を実施。[滋賀県（大津市など）、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、京都市、堺市、神戸市]
- 高度処理施設の整備及び既存処理場の高度処理化を実施。[滋賀県（大津市等）、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、京都市、大阪市、堺市、神戸市]
- 合流式下水道の改善を実施。[大阪府、京都市、大阪市]
- 農業集落排水事業を実施。[近畿農政局、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県]
- 流域住民の参加による負荷削減対策として大和川水質改善強化月間を実施。[近畿地方整備局]



高度処理施設 (西部北系)



高度処理化等取り組み施設
(令和5年度)

1. 生活排水対策(その2)

【下水道事業】

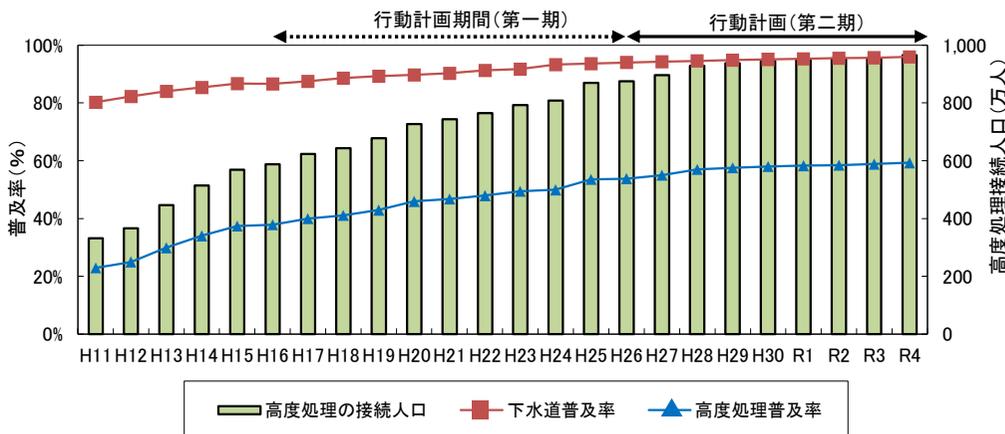
- 下水道普及率、高度処理普及率ともに着実に向上。

○下水道普及率：

86.7% [H16] →96.0% [R4]

○高度処理普及率

37.9% [H16] →59.3% [R4]



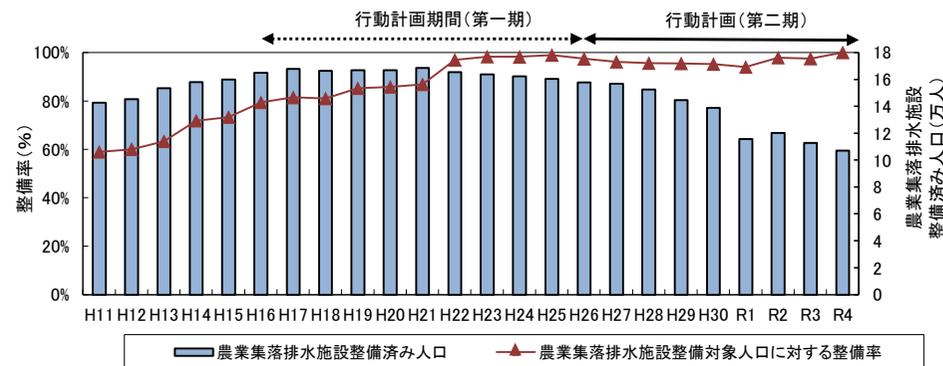
※下水道普及率、高度処理普及率は大阪湾流域内人口に対する処理区域内人口の割合を示す。

【農業集落排水事業】

- 農業集落排水施設整備対象人口に対する整備率は100%を達成。

○農業集落排水施設整備率

79.4 % [H16] →100% [R4]



※農業集落排水施設整備対象人口に対する整備率は整備計画人口に対する整備済み人口の割合を示す。

2. 面源負荷対策

- 雨水幹線の整備等により降雨時に流出する汚濁負荷の軽減を実施。（山寺川市街排水浄化対策事業、守山栗東雨水幹線整備事業〔滋賀県、草津市、守山市、栗東市〕）
- 雨水の有効利用や流出抑制を目指し、公園や学校校庭に雨水貯留施設の整備を実施。〔神戸市〕
- 助成制度により一般家庭等を対象とした雨水貯留タンクの普及促進。〔大津市、京都市、京都府内関係市町村、大阪市〕
- 農業濁水の発生抑制・流出防止のため、チラシ、巡回による啓発活動、新たな濁水対策技術の普及定着を実施。〔滋賀県〕



一般家庭等に設置する
雨水貯留タンクのイメージ

3. 河川浄化対策

- 河川浄化施設の整備、維持管理、水質改善効果等の確認を継続実施。[滋賀県、大阪府、奈良県]
- 浄化浚渫、覆土工を継続実施。（琵琶湖内湖（木浜内湖）[滋賀県]、平野川 [大阪府]

※西の湖では、水質改善対策として過年度の検討会でとりまとめられた、ウルトラファインバブルによるモデル事業を実施。



河川浄化浚渫・覆土の実施場所



覆土工の実施状況（木浜内湖）



植生工完了（木浜内湖）

4. 森林整備等

- 森林の持つ多面的機能の持続的発揮に向けた、森林整備事業、治山事業等を実施。
（間伐、保安林指定等）〔近畿中国森林管理局、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、兵庫県関係市町ほか〕
- 市民、NPO、企業等の参画・連携による森林整備を実施。（伊崎国有林、箕面国有林）〔近畿中国森林管理局〕
- 森林ボランティア団体への支援を実施。
（企業の森づくり活動を支援等）〔滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県〕
- 公共工事での間伐材等の利用を推進。〔近畿中国森林管理局、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県〕



下草刈り(伊崎国有林)



森林教室(箕面国有林)

国有林におけるボランティアによる森林整備と森林環境教育の様子

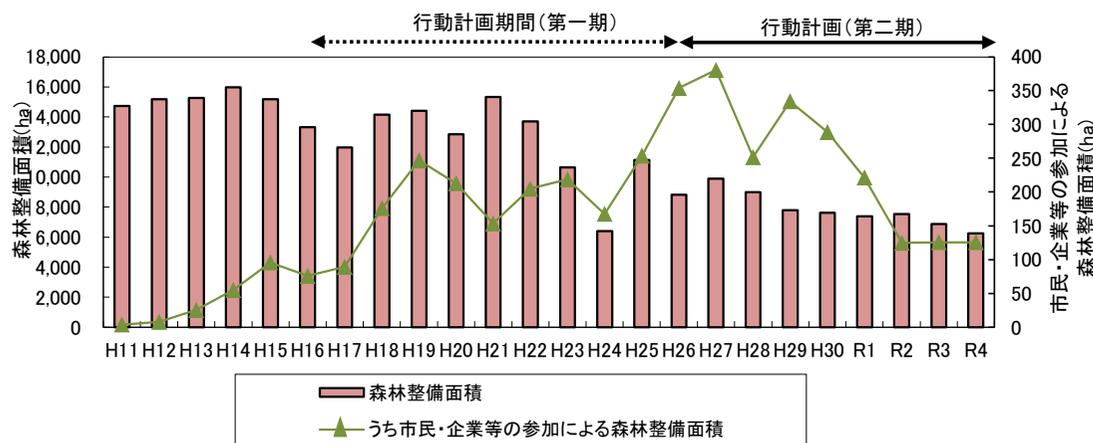


丸太式残存型柵(京都府内)



木製谷止工(滋賀県内)

公共工事での間伐材の利用



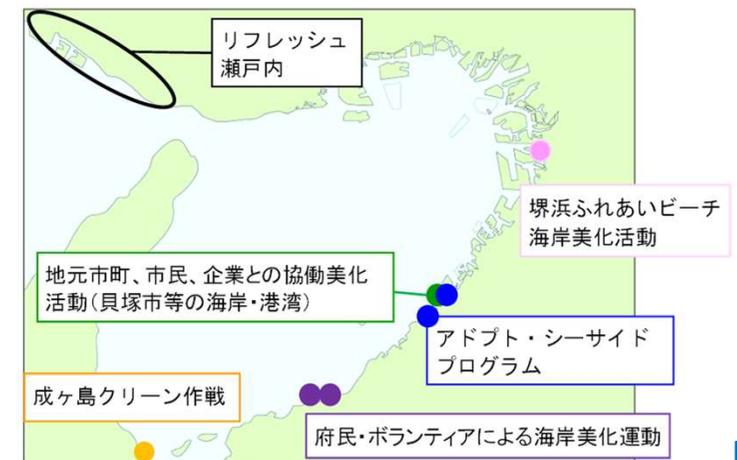
市民、NPO、企業等の参画・連携による主な森林整備の実施場所

5. 浮遊ごみ、漂着ごみ、河川ごみ等の削減

- 市民・NPO・企業・行政が一体となった河川清掃活動を実施。（淀川水系、大和川水系等）〔近畿地方整備局、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、兵庫県等〕
- 市民・企業等との連携による海岸美化活動を継続実施。〔近畿地方整備局及び各自治体、アドプト・シーサイド・プログラム、ボランティア団体など〕
- 浮遊ごみ・漂着ごみ・海底ごみを1,200m³回収（見込み）。〔大阪府、（特非）海域美化安全協会〕
- 海事関係者への巡回及び訪船による海洋汚染防止指導を実施。〔第五管区海上保安本部〕、海洋環境整備船により浮遊ごみを約2,000m³回収（令和5年12月時点）〔近畿地方整備局〕
- 海洋短波レーダー及び大阪湾内11地点に設置した水質定点自動観測機器による連続観測による大阪湾の汚濁メカニズムの解明に向けた取り組みを実施。〔神戸港湾空港技術調査事務所、神戸港湾事務所〕

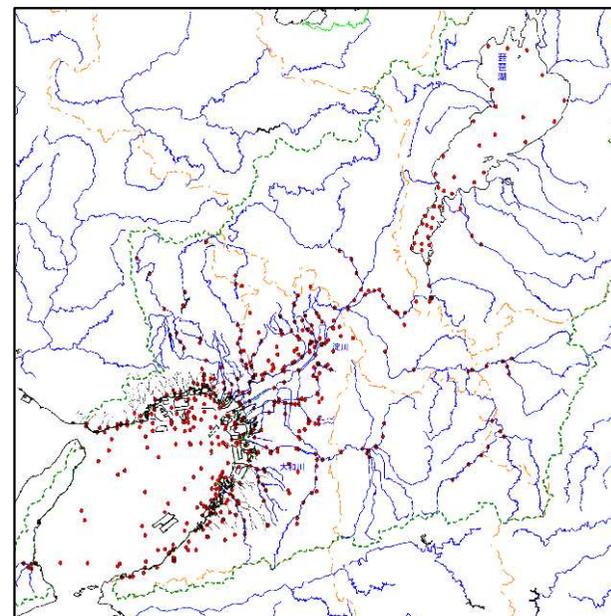


主なごみ回収活動の実施状況



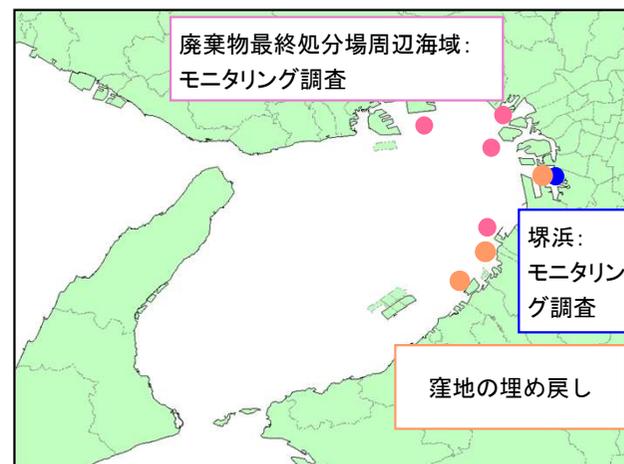
6. モニタリングの充実

- 大阪湾再生水質一斉調査を、43機関が529地点で実施。
[国、各自治体、民間企業、研究機関など]
- 大阪湾水質定点自動観測を継続実施。[神戸港湾空港技術調査事務所]
- 広域総合水質調査、瀬戸内海総合水質調査、公共用水域水質調査における水質・底質等の調査を継続実施。[国、各自治体]
- 水生生物調査として、瀬戸内海総合水質調査の大阪湾の底質調査地点において、水塊動向の結果として底生生物への影響について調査を実施。[神戸港湾事務所]
- 地域住民等と協働による河川水質調査を実施。[近畿地方整備局]
- 窪地修復等に関する検討会でモニタリング結果や窪地の埋め戻しに関する課題等の検討を実施。[近畿地方整備局]
- 廃棄物最終処分場周辺海域等でのモニタリング調査を実施。[大阪湾広域臨海環境整備センター]
- 大阪湾に流入するプラスチックごみ量の推計及び大阪湾の海岸におけるごみの組成調査を実施。[大阪府]
- 各調査結果をホームページ等で公開。[国、各自治体など]



令和5年度大阪湾再生水質一斉調査の実施地点 (535地点)

事業実施箇所における主なモニタリング調査



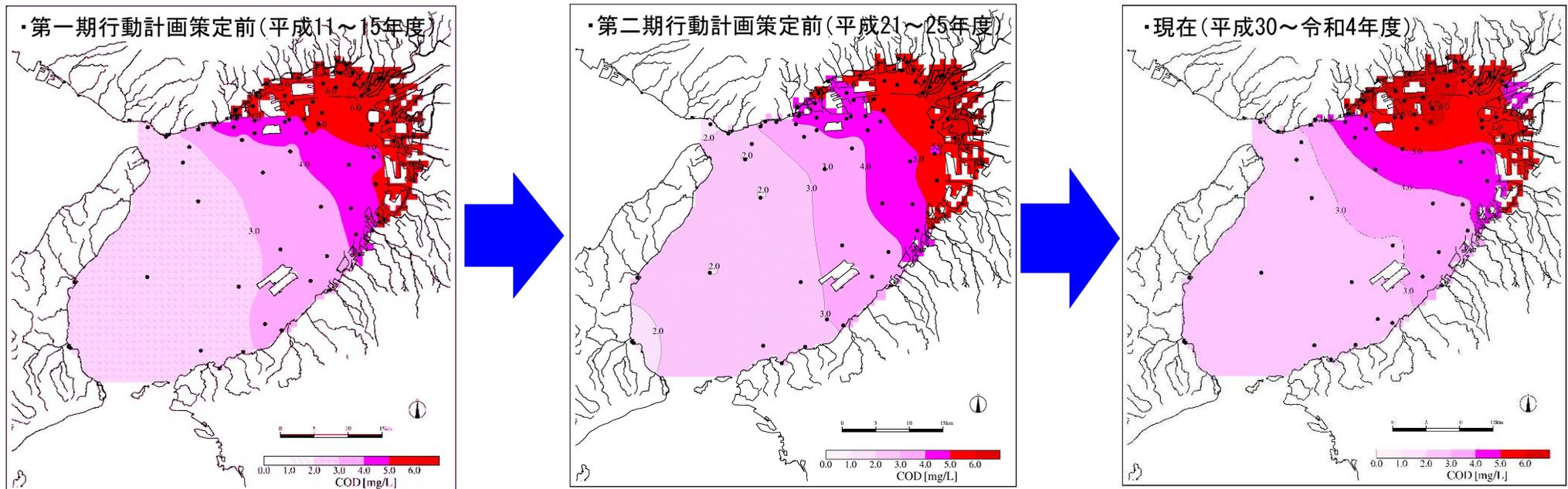
美しい「魚庭の海」に向けた 取り組みの評価結果

1. 表層COD

【公共用水域水質測定結果による夏季(6~8月)5年平均※】

- 第一期行動計画策定前と現在の比較
夏季では、依然として湾奥部の一部で快適な散策・展望の目安となる5mg/Lを超える海域がみられるが、その範囲はやや縮小傾向にある。
 - 第二期行動計画策定前と現在の比較
湾奥部、特に堺港周辺で5mg/Lを超える領域がやや縮小している。
- ⇒特に湾奥部において、今後取り組みを推進することが望まれる。

・夏季(6~8月)5年平均※



※水質データは年変動が大きいため5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。

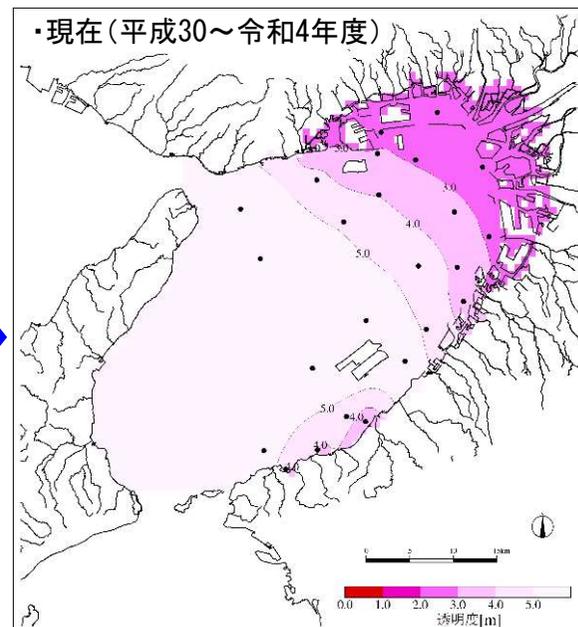
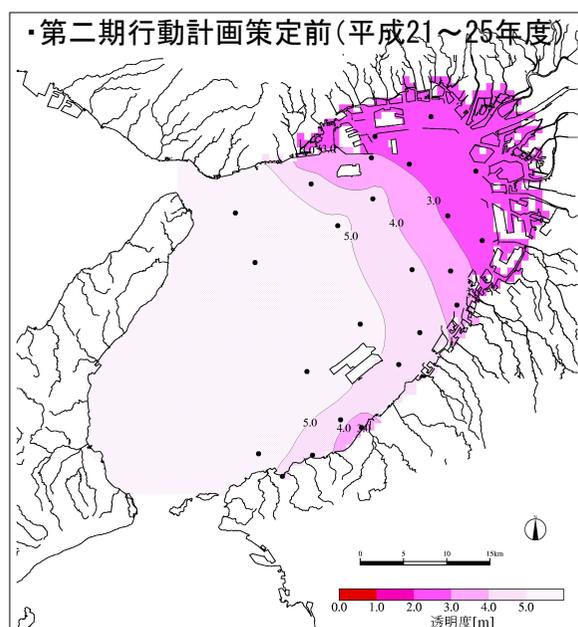
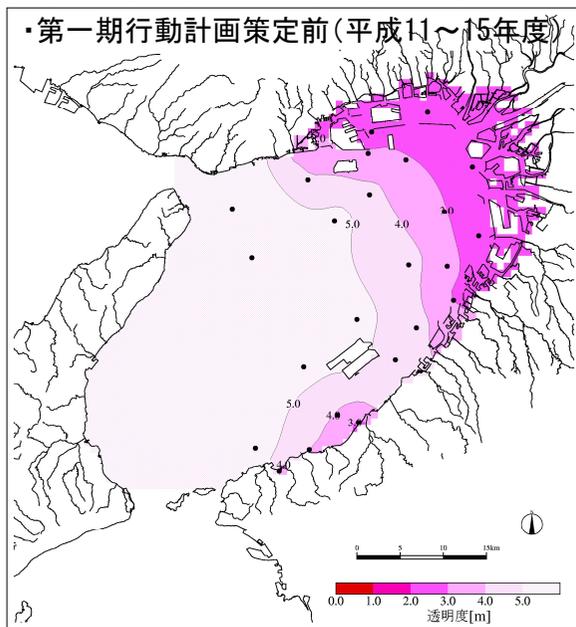
資料) 公共用水域水質測定結果より作成

2. 透明度

【公共用水域水質測定結果による夏季(6~8月)5年平均※】

- 第一期行動計画策定前と現在の比較
夏季では、湾央~湾奥部では2~3m程度の透明度が低い海域がみられ、湾口部では5m以上の透明度が高い海域が湾奥部方向へ拡大している。
- 第二期行動計画策定前と現在の比較
夏季では湾央部の5m以上の海域が、湾奥部方向へ拡大している。

・夏季(6~8月)5年平均※



※水質データは年変動が大きいため5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。

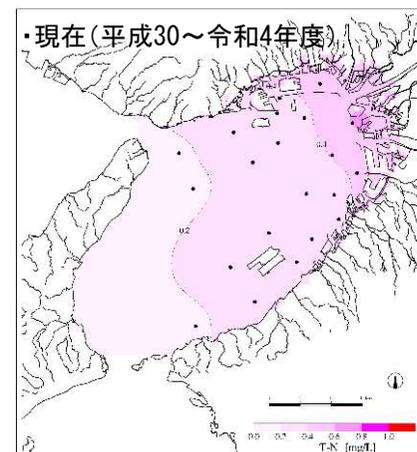
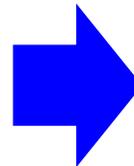
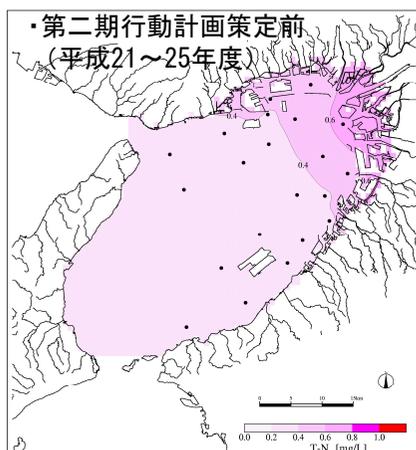
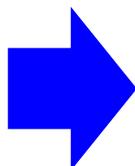
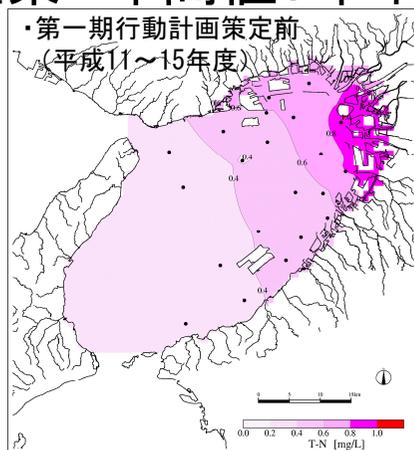
資料) 公共用水域水質測定結果より作成

3. 窒素

【公共用水域水質測定結果による5年平均※】

● 全窒素

- ・第一期行動計画策定前と現在の比較：湾中央～湾奥部で減少傾向がみられる。
- ・第二期行動計画策定前と現在の比較：湾口部で減少傾向がみられる。
- ・全窒素 年間値5年平均※



※水質データは年変動が大きいことから5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。
資料）公共用水域水質測定結果より作成

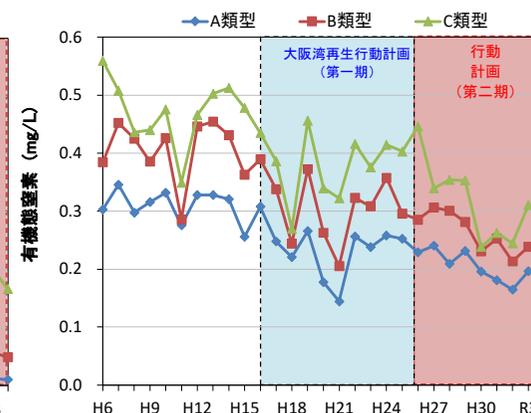
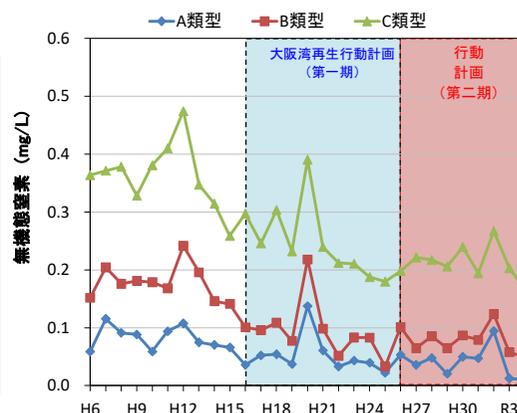
・形態別窒素の経年変化（年平均値）

【無機態窒素】

【有機態窒素】

● 形態別窒素

- ・年による変動がみられるものの、第二期計画策定（平成26年度）以降は、無機態窒素は概ね横ばい、有機態窒素は減少傾向を示す。



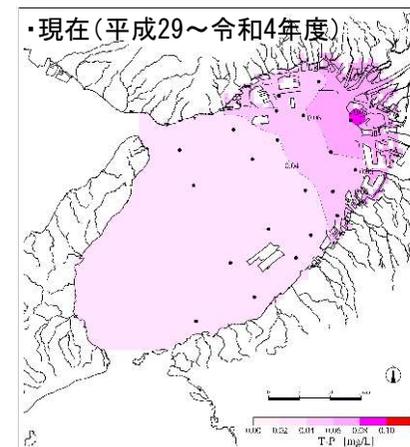
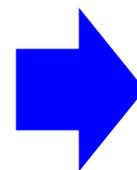
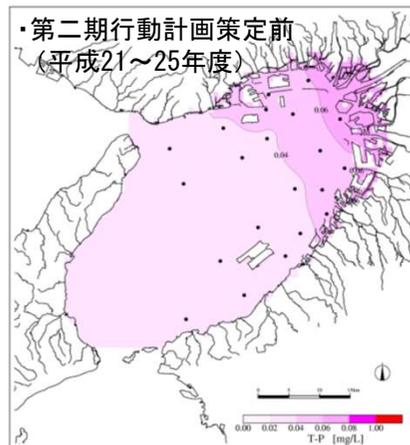
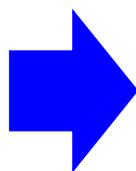
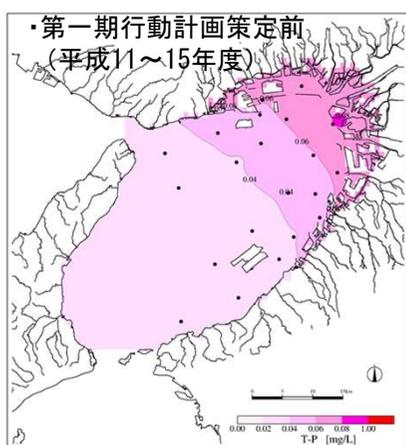
資料）大阪府公共用水域水質測定結果より作成

4. 燐

【公共用水域水質測定結果による5年平均※】

● 全燐

- ・第一期行動計画策定前と現在の比較：湾央～湾奥部で減少傾向がみられる。
- ・第二期行動計画策定前と現在の比較：湾奥部1地点でやや増加傾向がみられる。
- ・全燐年間値5年平均※



※水質データは年変動が大きいことから5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。
資料) 公共用水域水質測定結果より作成

・ 形態別燐の経年変化(年平均値)

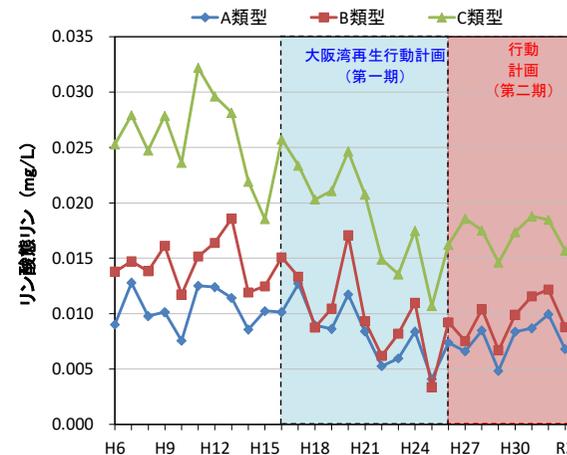
● 形態別燐

- ・ 無機態燐であるリン酸態リンは、平成12年頃から変動しながら減少傾向がみられる。
- ・ 第二期行動計画策定(平成26年度)以降は概ね横ばい傾向にある。



資料) 大阪府公共用水域水質測定結果より作成

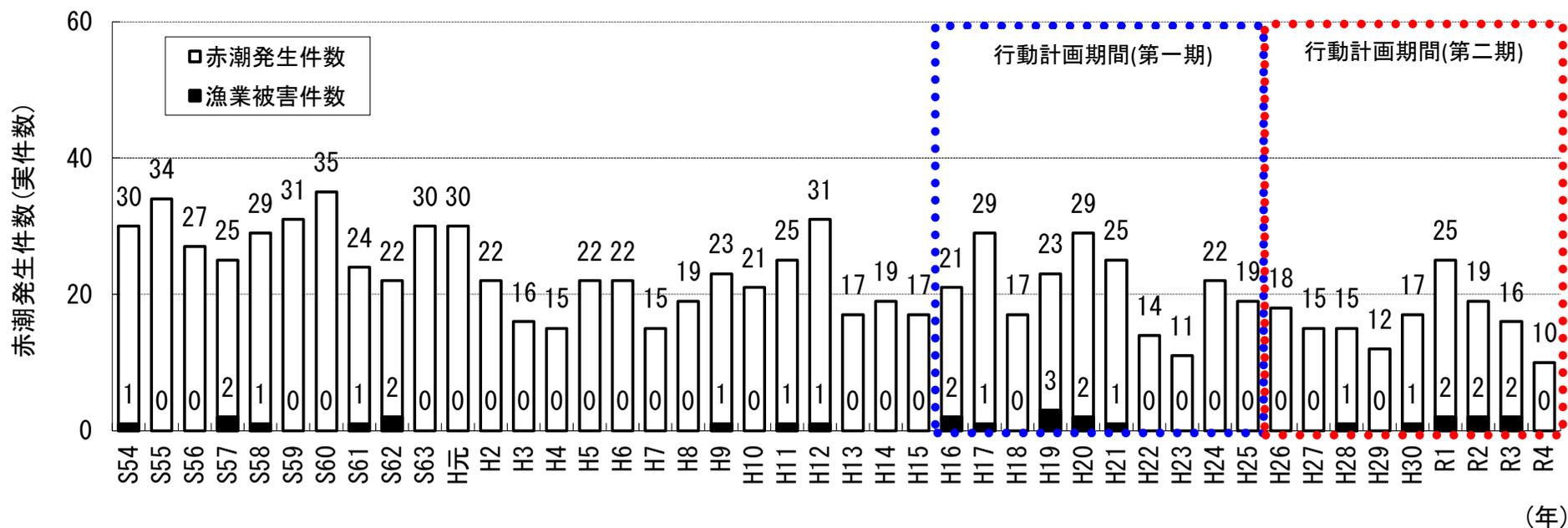
【リン酸態リン】



5. 赤潮の発生状況

- 第一期行動計画期間（平成16～25年）中の赤潮発生数は11～29件の範囲、第二期行動計画策定（平成26年度）以降は10～25件の範囲で推移していた。令和4年度には赤潮が10件発生。
- 令和4年度は、漁業被害の報告はなかった。

経年変化（大阪湾における赤潮の発生件数）



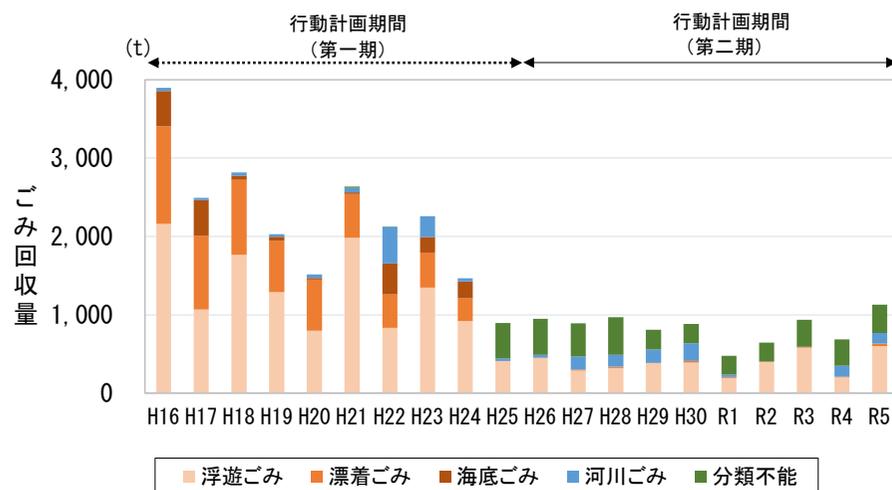
資料) 瀬戸内海の赤潮より作成

6. ごみ回収量・回収活動参加者数

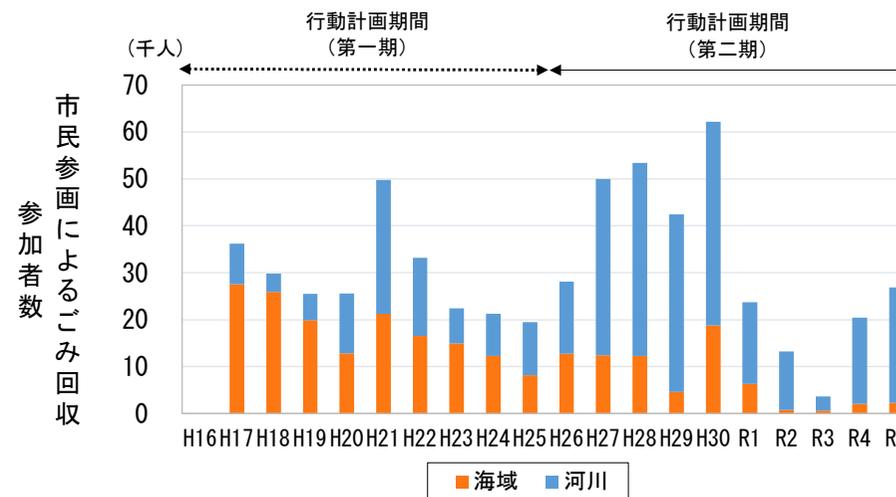
- ごみ回収量：1,127.4 t（見込み）（R5）
- ごみ回収活動参加者数：26,897人（見込み）（R5）

◆さまざまな機関、団体等により、ごみ回収が実施されている。

【ごみ回収量の経年変化】



【ごみ回収活動参加者数の経年変化】



※平成16年度は参加者数を把握していない。

※第二期行動計画（平成26年度以降）において、新たに集計対象とした施策がある。

親しみやすい「魚庭の海」に 向けた取り組みの状況

親しみやすい「魚庭の海」に向けた取り組みの状況（まとめ） （その1）

取り組みの状況

1. 砂浜、親水護岸等の整備

- 舞洲と夢洲の連続した海岸線における砂浜や磯場、干潟の造成を継続実施。

2. 親水緑地等の整備

- 尼崎臨海地域、海面廃棄物処分場跡地の緑地等への活用を推進。
- 漁業者・ボランティア等による下草刈りを実施。

3. イベントの開催

- 兵庫運河の人工干潟や尼崎運河の水質浄化施設など、親水空間を活用した環境学習イベント及び、港湾施設見学会や海洋環境教室などを開催。

4. 市民や企業の取り組みへの参画促進、取り組みの支援

- 「ほっといたらあかんやん！第20回大阪湾フォーラム」、「海の教室」等のフォーラム・環境学習会を実施。
- 「大和川清流復活ネットワーク」等の市町村や民間団体との情報共有を実施。
- 緑地の一部を魚釣り場として開放。



親しみやすい「魚庭の海」に向けた取り組みの状況(まとめ) (その2)

取り組みの評価結果

1. 砂浜・親水護岸・親水緑地の整備面積・延長

- 親水護岸の整備延長: 累積6.0km
- 親水緑地の整備面積: 累積82.6ha

2. 親水施設への訪問者数

- 海水浴場や親水公園等多くの施設で多くの訪問者があった。

3. イベントの開催状況

- 出前講座等の環境学習や海づくり大会等のイベント、森林整備・清掃活動等の多彩なイベントを開催し、多くの参加があった。

取り組みの成果

- 親水施設等で開催した多彩なイベントに多数の参加を得るなど、一定の成果を得た。
- 今後も、パブリックアクセスを踏まえた魅力的な親水施設の整備、多彩なイベントの実施、及び市民・企業等が積極的に参画できる取り組みの推進が望まれる。

1. 砂浜、親水護岸等の整備

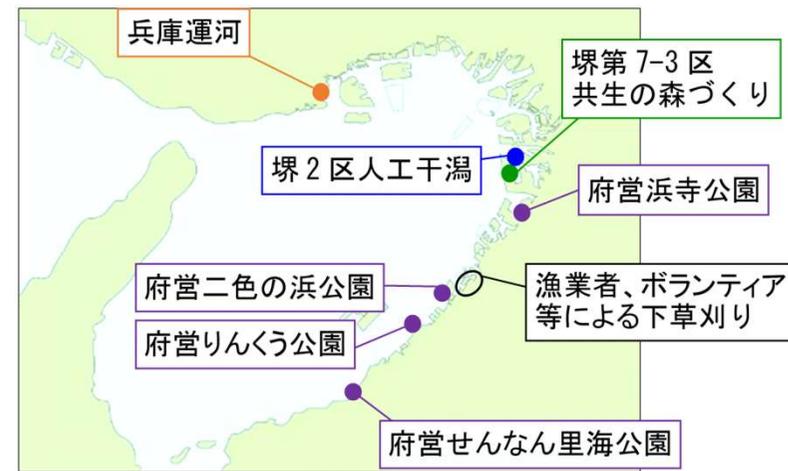
- 舞洲と夢洲の連続した海岸線に砂浜や磯場、干潟の造成、海辺の緑化の継続実施。[大阪市]



整備実施場所

2. 親水緑地等の整備

- 尼崎臨海地域の緑化(尼崎21世紀の森)の推進。[兵庫県]
- ポートアイランド(第2期)西緑地の整備の実施。[神戸市]
- 漁業者、ボランティア等による下草刈りを岸和田市で実施。[大阪府漁連]
- 府営公園の管理を実施。[大阪府]
- 堺第7-3区共生森づくり事業において連絡調整会を実施。[大阪府]
- 兵庫運河の新たな活用や周辺の活性化のための設計整備を実施。[神戸市]



主な親水緑地の整備等実施場所

3. イベントの開催

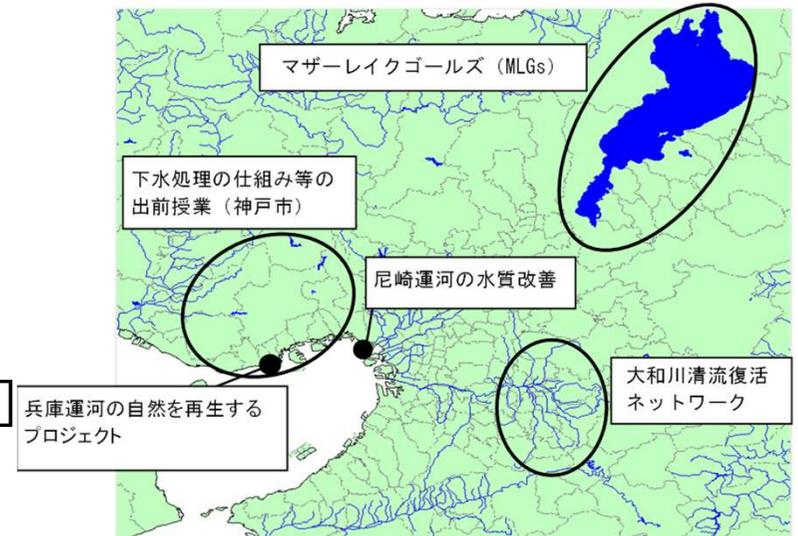
- 四大湾（東京湾、伊勢湾、大阪湾、広島湾）の海の再生プロジェクトの成果や課題、教訓などを基に、全国の閉鎖性水域の再生プロジェクトに展開させるとともに、全国の海の環境再生につながる取り組みの情報共有・情報発信を行うことを目的とした『第18回海の再生全国会議』を近畿地方にて開催。[近畿地方整備局港湾空港部]
- 岸和田市港緑町（岸和田市立浪切ホール）において魚庭の海づくり大会を実施。[大阪府、魚庭の海づくり実行委員会]
- 尼崎運河の水質浄化施設で市内の小中高生などを対象に環境学習会を継続実施。今年度は環境学習フェスティバルも実施。[兵庫県、尼崎市]
- 市民によるアコヤ貝育成を通じた水質保全活動に対する、神戸市の技術面等からの支援を継続実施。[兵庫運河・真珠貝プロジェクト]
- せんなん里海公園において、淡輪小学校4年生の生徒を対象に、生物や海岸についての講演、生物観察、稚魚放流等のイベントを継続実施。[大阪府、岬町教育委員会、(公財)大阪府漁業振興基金、(公財)公園協会、関西大学]



主なイベントの実施場所

4. 市民や企業の取り組みへの参画促進、取り組みの支援

- 琵琶湖版SDGsである「マザーレイクゴールズ」を中心とした取り組みを継続実施。[マザーレイクゴールズ推進委員会、滋賀県]
- 「大和川清流復活ネットワーク」において、市町村や民間団体との情報共有を継続実施。[奈良県]
- 緑地の一部を魚釣り場として開放（舞洲：230m、咲洲海浜緑地：215m、鶴浜緑地：50m）。[大阪市]
- 大学等との連携による尼崎運河の水環境改善に係る実験・環境学習会を継続実施。[徳島大学、兵庫県、尼崎市]
- 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画に基づき、海洋プラスチックごみの削減や水環境の創造など、実行計画の施策を幅広く展開するため、ステークホルダーにアプローチを行い、ステークホルダー間の連携構築を実施。[大阪府、大阪市]
- 水辺環境の保全や再生に関する新しい知見を収集・蓄積・共有し、水辺環境の保全に資する取組を推進するために地域団体等が行う実践活動を支援。[兵庫県]



主な市民や企業の取り組みへの参画促進、取り組みの支援実施場所

親しみやすい「魚庭の海」に 向けた取り組みの評価結果

1. 砂浜・親水護岸の整備延長・親水緑地の整備面積

【砂浜】

● 累積整備延長 : 0.2km

【親水護岸】

● 累積整備延長 : 6.0km

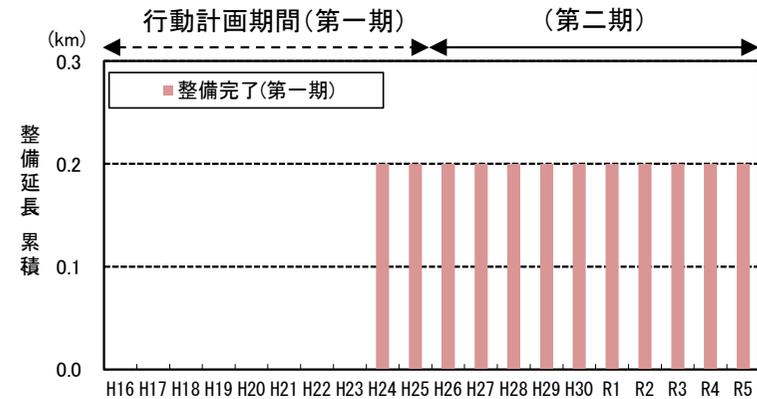
【親水緑地】

● 累積整備面積 : 82.6ha

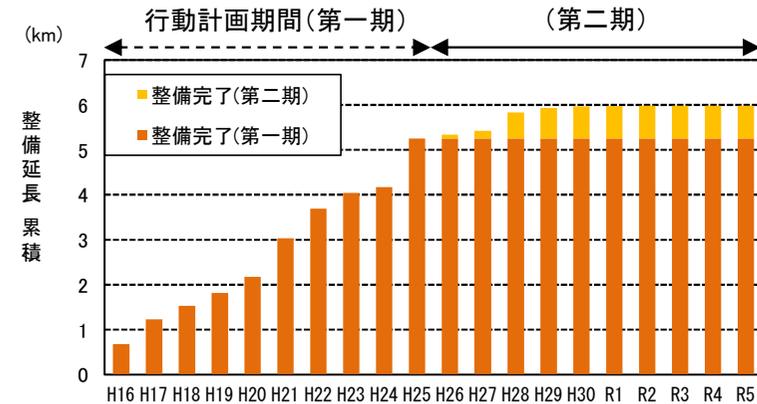


令和5年度の整備実施場所

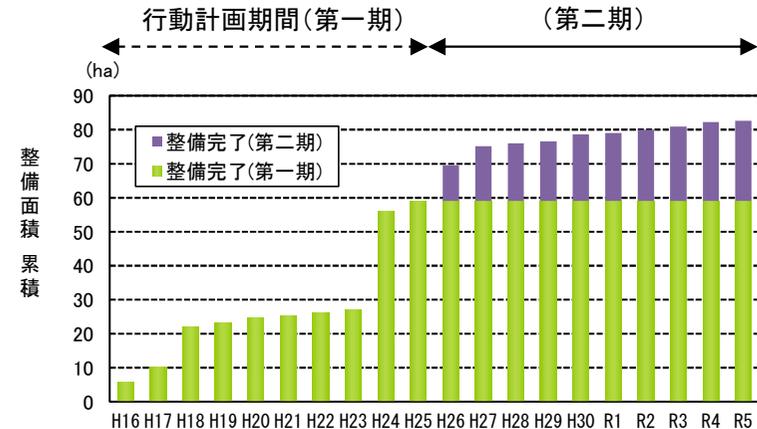
【砂浜】(累積整備延長)



【親水護岸】(累積整備延長)



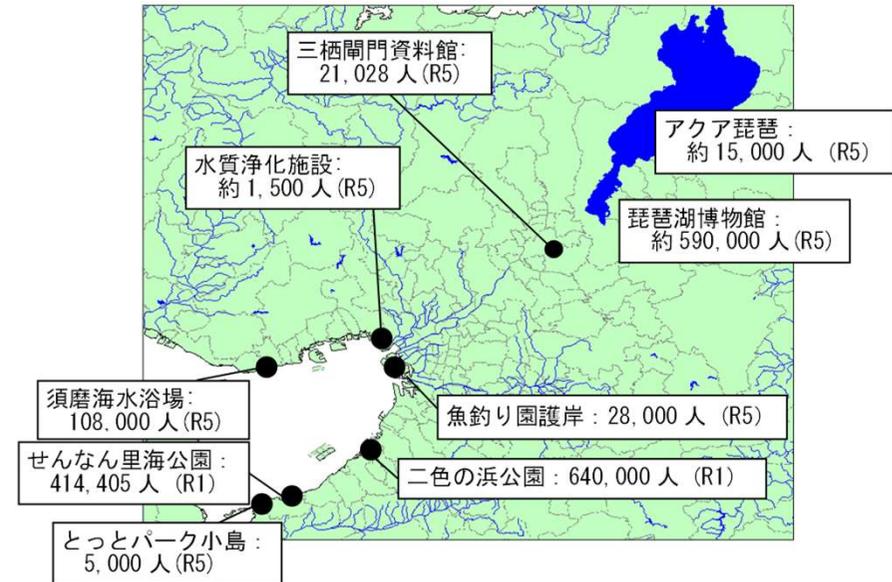
【親水緑地】(累積整備面積)



2. 親水施設への訪問者数

【親水施設への訪問状況】

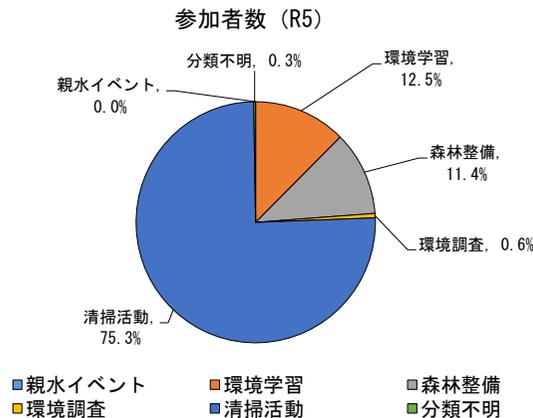
- 須磨海水浴場：108,000人 (R5)
- 水質浄化施設：約1,500人 (R5)
- 魚釣り園護岸：28,000人 (R5)
- 二色の浜公園：640,000人 (R1)
- せんなん里海公園：414,405人 (R1)
- とっとパーク小島：5,000人 (R5)



主な親水施設への訪問者数

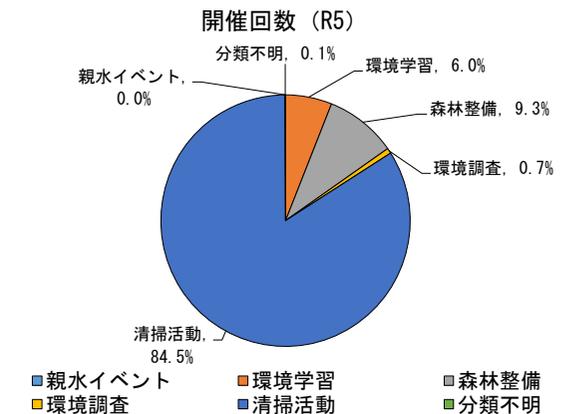
3. イベントの開催状況

	R5
親水イベント	0
環境学習	46,049
森林整備	41,900
環境調査	2,100
清掃活動	277,959
分類不明	938
合計	368,946



イベントの参加者数

	R5
親水イベント	0
環境学習	368
森林整備	568
環境調査	40
清掃活動	5,142
分類不明	4
合計	6,122



イベントの開催回数

豊かな「魚庭の海」に 向けた取り組みの状況

豊かな「魚庭の海」に向けた取り組みの状況（まとめ） （その1）

取り組みの状況

1. 藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸等を整備

- 整備箇所（堺2区人工干潟、神戸空港等）におけるモニタリング調査等を実施。
- 関西国際空港島周辺海域にてキジハタ等の稚魚の放流を実施。
- アマモの移植実験（兵庫運河）等を実施。

2. 窪地の埋め戻し

- 港湾及び河川からの土砂を用いて阪南2区沖、阪南4・6区沖の窪地の埋め戻しを実施。

3. モニタリングの充実

- 大阪湾生き物一斉調査、漁場環境調査、河川・海域における市民の参加を得ながら生物の生息状況のモニタリングを実施。
- 事業実施箇所における生物調査等を実施。

4. その他

- 里海創生への支援を実施。
- 海底耕耘、ため池の池干し（かいぼり）を実施。
- 下水処理施設における栄養塩類管理運転の推進を実施。



豊かな「魚庭の海」に向けた取り組みの状況（まとめ） （その2）

取り組みの評価結果

※ <>内は評価指標値の目安

※水質データは年変動が大きいことから5年平均値を採用

1. 底層DO <5mg/L以上>※

- 湾奥部：夏季に5mg/L未満の海域がみられる。
- 湾口部～湾央部：夏季に概ね5mg/L以上。

2. 底生生物（種類数・個体数）

- 湾奥部から湾西部で**増加傾向**を示している地点がみられる。

3. 海岸生物（確認された種、数）[大阪湾生き物一斉調査の結果]

- **592種**（うち、**貴重種82種**）を確認。
- 河口～内湾型や内湾～外海型の生物の出現頻度が高かった。

4. 藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸の整備面積・延長

- 藻場の整備面積：**累積41.1ha**、干潟の整備面積：**累積1.3ha**
浅場の整備面積：**累積2.4ha**、緩傾斜護岸の整備延長：**累積3.6km**

取り組みの成果

- 湾奥部では、依然として夏季に底生生物の生息に適さない海域がみられ、底生生物の種類数も少ないため、今後のさらなる取り組み推進が必要である。
- 湾口部・湾央部では、生物生息に十分な底層DOが確保されている海域が多く、底生生物について改善傾向がみられる海域があるものの、さらなる取り組みを推進することが望ましい。

1. 藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸等の整備

- 環境創造型護岸におけるブルーカーボン生態系のモニタリング調査およびCO₂吸収量の定量的評価を実施予定。（神戸空港周辺海域〔神戸市〕）
- キジハタ等の稚魚の放流を実施。（関西国際空港島周辺海域〔大阪府〕）
- 漁協・地元・NPO・行政が連携・協働し、アマモの移植・モニタリング、竹・柴漁礁の実験設置、稚魚の放流等を実施。（兵庫運河〔神戸市、兵庫漁業協同組合、兵庫運河を美しくする会等〕）
- 干潟（阪南2区人工干潟）での生物モニタリング調査の継続実施。〔ちきりアイランドまちづくり会〕



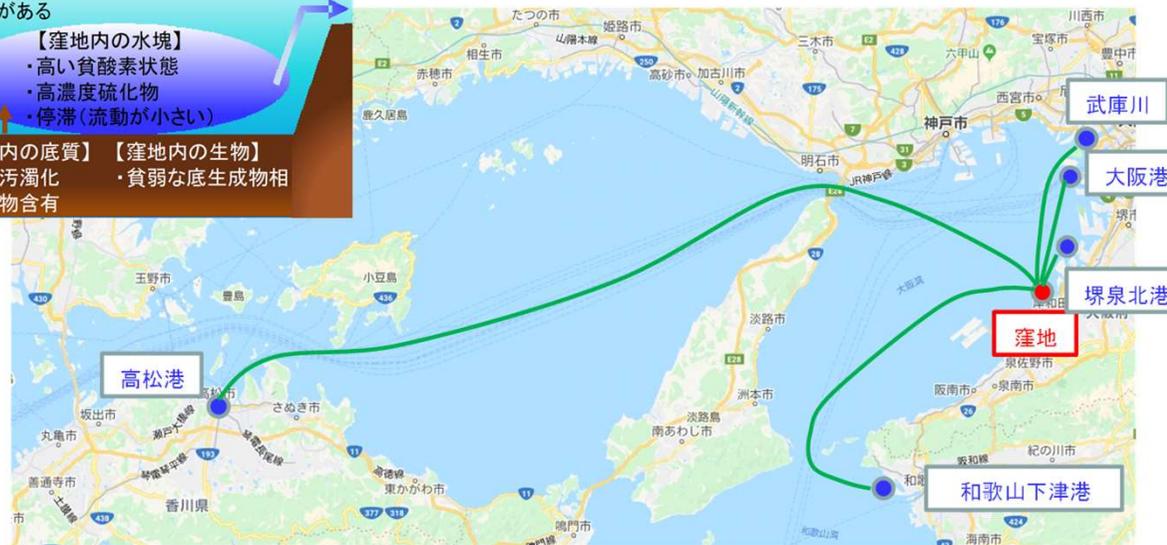
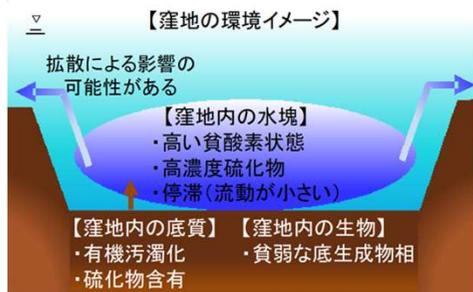
運河水面の新たな活用(兵庫運河)



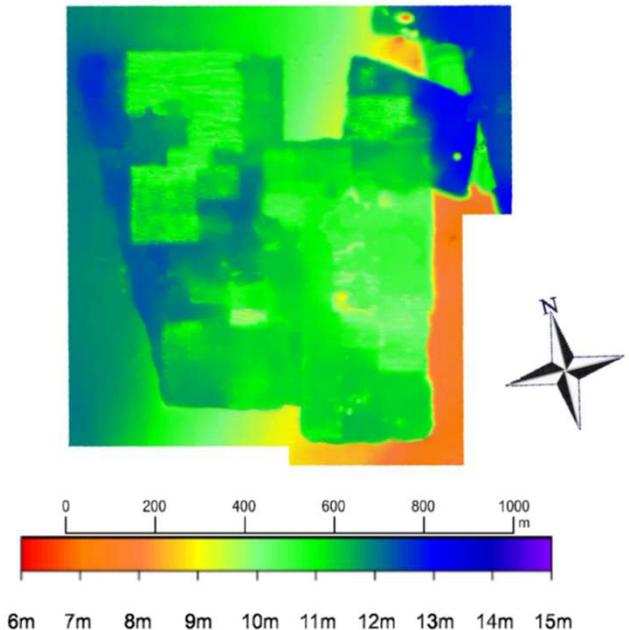
主な藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸等の整備実施場所

2. 窪地の埋め戻し

- 阪南2区沖窪地を対象に本格的に埋め戻しの着工を開始。令和3年度からは阪南4・6区沖窪地の埋め戻しにも着工を開始。[近畿地方整備局港湾空港部]
- 学識経験者を含めた関係者等による検討会を設置し、技術的検討を実施。[近畿地方整備局港湾空港部]
- 令和5年度は阪南2区沖窪地において大阪港の発生土砂及び武庫川の河川土砂を受け入れ、阪南4・6区沖窪地においては和歌山下津港の発生土砂の受け入れを実施。[近畿地方整備局港湾空港部]



令和5年度の埋め戻し受入れ場所



水深図(測量日:令和6年1月17、18、22日)

3. 増殖場等の整備

- 岬町地先海域において、増殖場造成のため藻場ブロックを8基作成、7基設置予定。〔大阪府〕



漁場整備実施場所



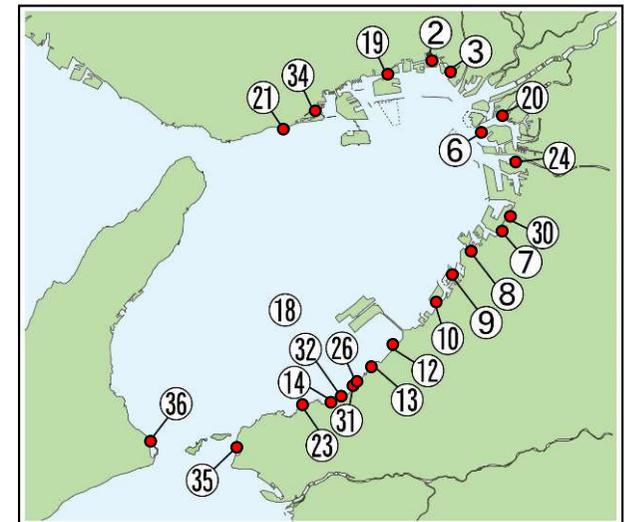
設置予定の藻場ブロック
(イメージ)

4. モニタリングの充実

- 大阪湾生き物一斉調査を**23地点**で**1,048人**が参加して実施。〔大阪湾環境再生連絡会〕
- 漁場環境等の保全調査を継続実施。〔(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所〕
- 重要水族の資源生態把握調査等を継続実施。〔兵庫県〕
- 漁場環境情報システムで水温等の環境情報を毎日提供。〔兵庫県〕
- **10地点**で赤潮予察調査を実施し、ホームページで情報提供〔兵庫県〕
- 小中学校等と協働した水生生物調査を実施。〔近畿地方整備局〕
- 令和2年度に造成した兵庫運河の「あつまれ生き物の浜」において、教育機関、地元漁業関係者、行政等が連携して、6月と11月にアサリ調査などを含む現地調査を実施。〔近畿地方整備局港湾空港部〕



大阪湾生き物一斉調査



大阪湾生き物一斉調査の調査地点
(令和5年度)

5. その他

- ウェブサイト「里海ネット」の運営継続、内容の充実。[環境省]
- 海底環境を改善するため、海底耕耘を7つの組織（神戸市1、淡路市4、洲本市2）で継続実施。[漁業者組織（神戸市、洲本市、淡路市）]
- ため池の適正な維持保全と浅場への栄養塩供給を目的とした、漁業者と農業者の連携によるため池の池干し（かいぼり）を2箇所で開催実施。[漁業者組織（淡路市）]
- 大阪湾沿岸部で水質調査結果の解析、深掘り跡での水質・底質・底生生物調査を実施。[神戸港湾空港技術調査事務所]
- 水産資源の維持増大のため、ヒラメ等の種苗生産、放流を実施 [大阪府、兵庫県、神戸市、洲本市、淡路市、大阪府漁業振興基金、漁業関係団体]
- 海域の貧栄養への対策として下水処理施設において放流水中の窒素濃度を規制の範囲で増加させる栄養塩管理運転を4施設で実施。 [兵庫県、神戸市、洲本市、淡路市]



海底耕耘の様子



稚魚放流

豊かな「魚庭の海」に 向けた取り組みの評価結果

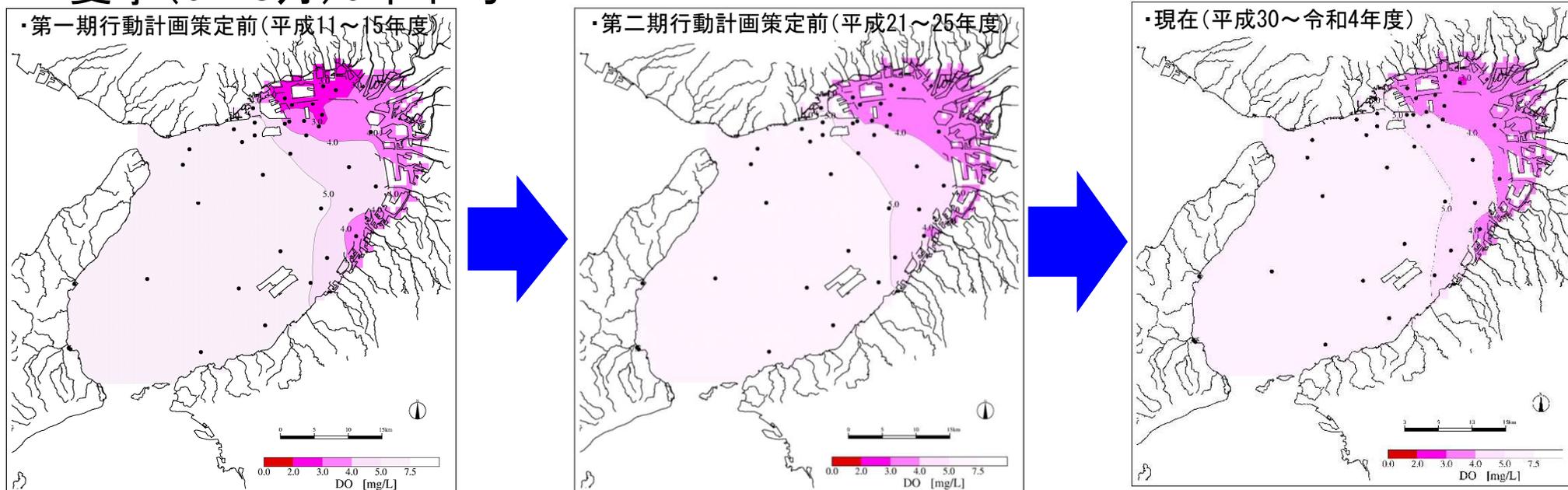
1. 底層DO

【公共用水域水質測定結果による夏季(6~8月)5年平均※】

- 第一期行動計画策定前と現在の比較
湾奥部で、夏季に依然として5mg/L未満の海域がみられるが、貧酸素の目安となる3mg/L未満の海域はほとんどみられなくなっている。
- 第二期行動計画策定前と現在の比較
湾口部、湾央部は夏季においても生物生息に十分な5mg/L以上を概ね維持しているが、湾奥部は以前として5mg/L未満の海域がみられる。

⇒特に湾奥部において、今後も取り組みを推進することが望まれる。

・夏季(6~8月)5年平均※



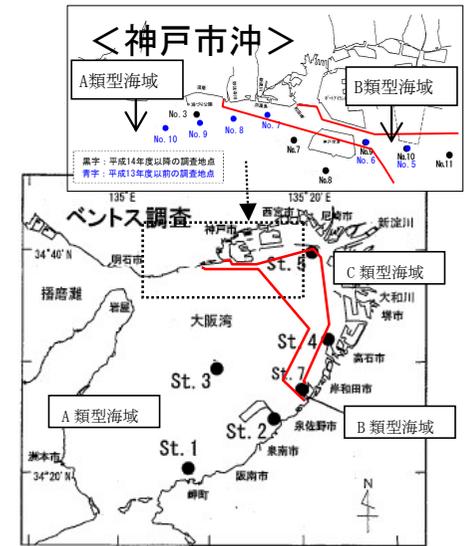
資料) 公共用水域水質測定結果より作成

※底層DOのデータは大阪府、兵庫県ともに環境基準に合わせて海底から1mで測定しているデータを使用している。

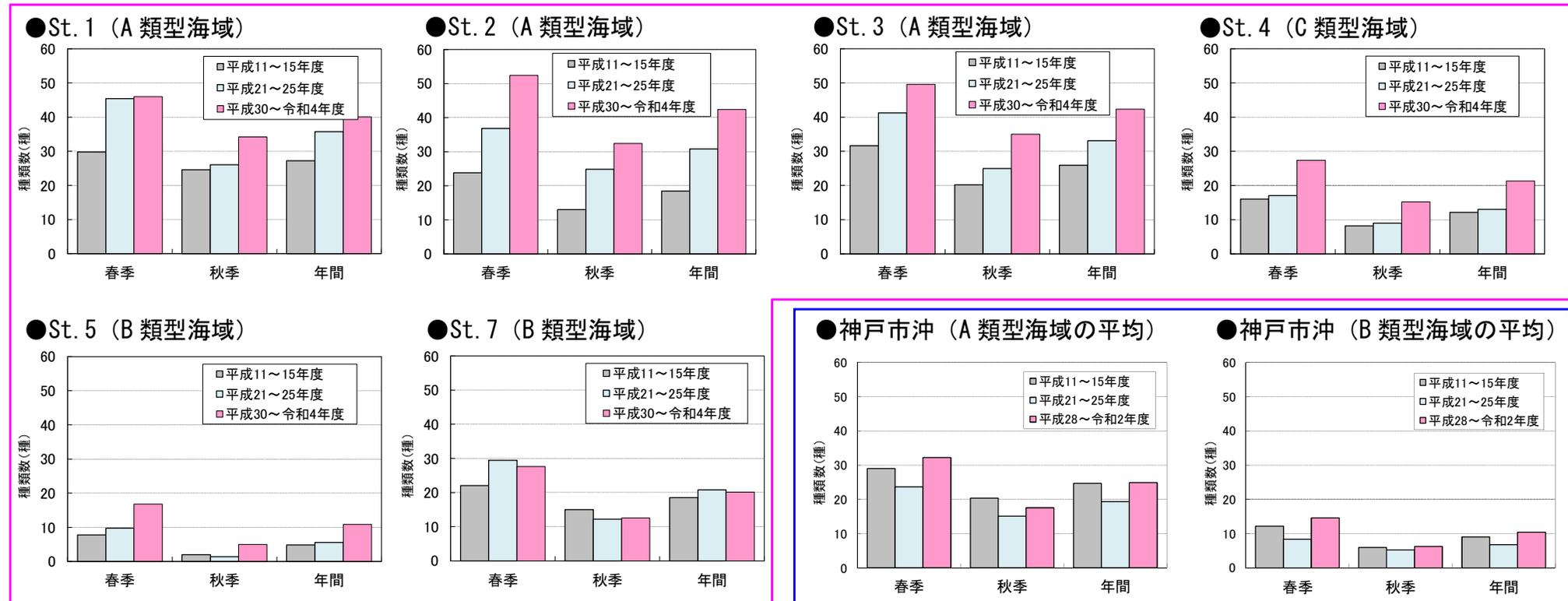
※水質データは年変動が大きいため5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。

2. 底生生物(種類数)

- 湾奥部(B・C類型海域)で少なく、湾央～湾口部(A類型海域)が多い。
- 第一期行動計画策定前と現在の比較
湾央～湾口部 (A類型海域) で増加がみられる。
- 第二期行動計画策定前と現在の比較
湾央～湾口部 (A類型海域) で増加がみられる。



変化図(底生生物・種類数)



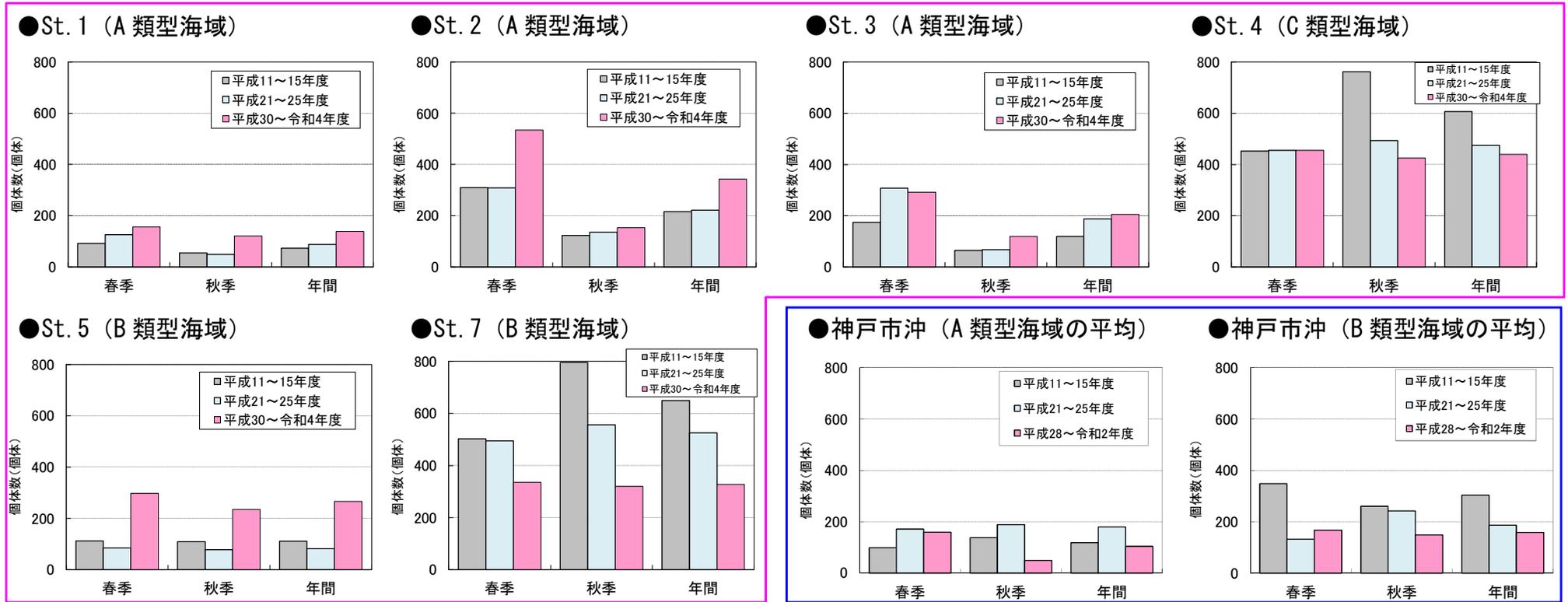
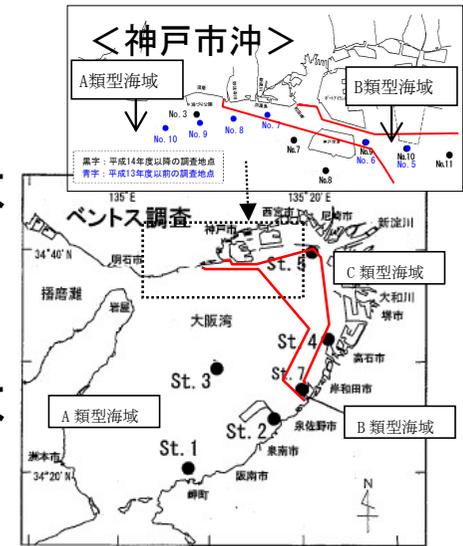
資料) 漁場環境調査 生物モニタリング調査 ((地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター、環境水質 海域の水生生物調査(神戸市環境局)

※兵庫県では平成29年度、令和元年度は底生生物調査を実施していない。令和2年度で調査を終了した。

※神戸市沖: 約0.1~0.13m² (H21、H25、H27~ H28、H30は約0.15m²) 当たりの種類数、大阪府域: 0.1m² 当たりの種類数

2. 底生生物(個体数)

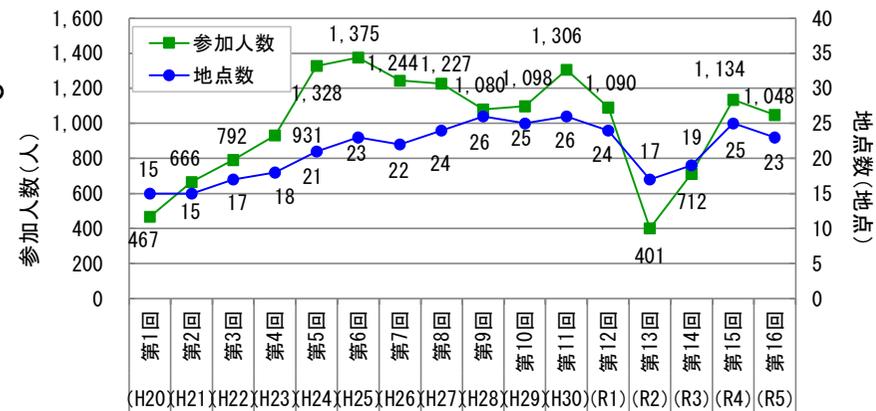
- 湾奥部(B・C類型海域)の東側(St.4、7)で個体数が多い。
 - 第一期行動計画策定前と現在の比較
大阪府域の湾央～湾口部(A類型海域)では横ばいまたはやや増加傾向がみられる。
 - 第二期行動計画策定前と現在の比較
大阪府域の湾央～湾口部(A類型海域)では横ばいまたはやや増加傾向がみられる。
- ・変化図(底生生物・個体数)



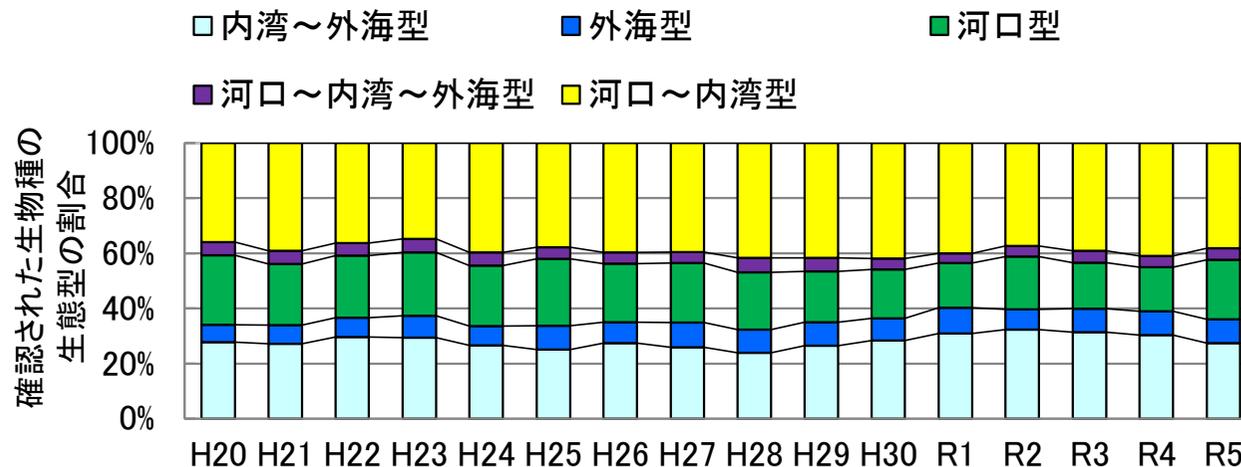
資料) 漁場環境調査 生物モニタリング調査 (地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター、環境水質 海域の水生物調査(神戸市環境局)
 ※兵庫県では平成29年度、令和元年度は底生生物調査を実施していない。令和2年度で調査を終了した。
 ※神戸市沖: 約0.1~0.13m²(H21、H25、H27~H28、H30は約0.15m²)当たりの種類数、大阪府域: 0.1m²当たりの種類数

3. 海岸生物

- 確認した生物は**592種**（水生生物群**453種**、陸生生物群**139種**）、その内貴重種は**82種**。
- 全体的に河口～内湾型や内湾～外海型の種の出現頻度が高く、マガキは19地点中18地点で確認されました。内湾～外海型の生物ではアサリ、イボニシ、タマキビガイがいずれも19地点中16地点で確認されました。河口型の生物ではケフサイソガニ、タカノケフサイソガニが19地点中いずれも15地点で確認されました（アマモ場調査の3地点を除く）。



注) スナメリ調査の1地点を含む。



注) 第1回の調査以降実施していない地点を除く。

4. 藻場、干潟、浅場の整備面積・緩傾斜護岸の整備延長

【藻場】

● 累積整備面積：41.1ha

【干潟】

● 累積整備面積：1.3ha

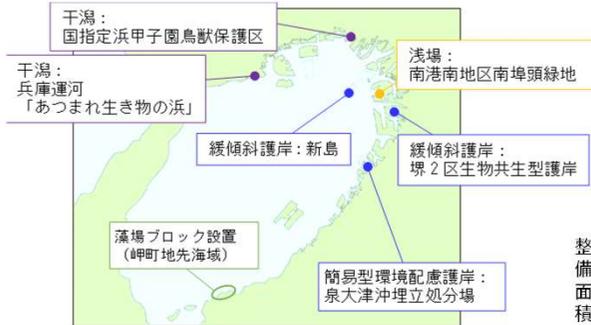
【浅場】

● 累積整備面積：2.4ha

【緩傾斜護岸】

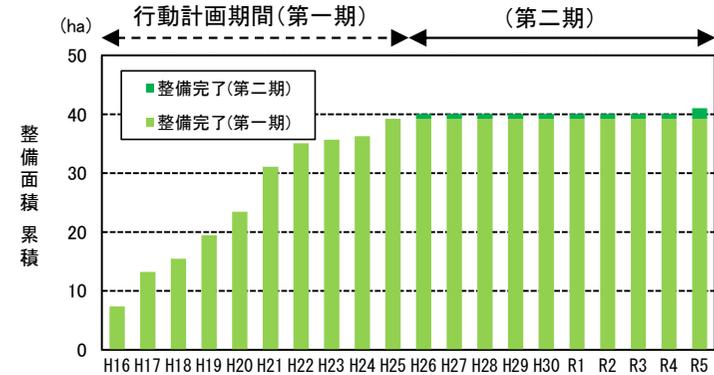
● 累積整備延長：3.6km

➡ 令和5年度は藻場の整備が実施された

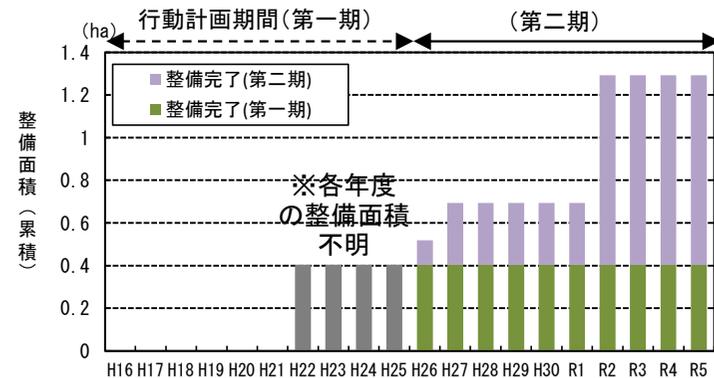


大阪湾再生行動計画策定以降の整備実施場所

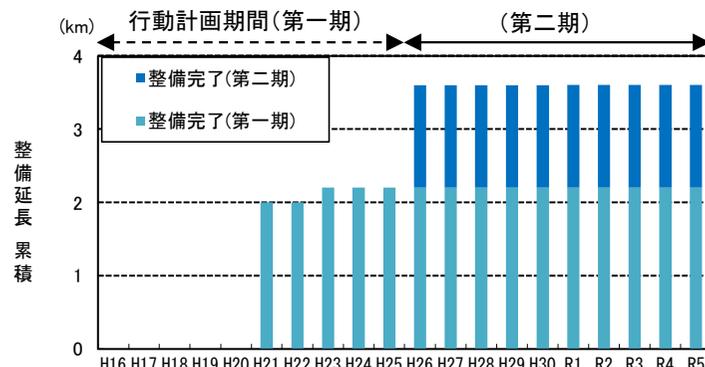
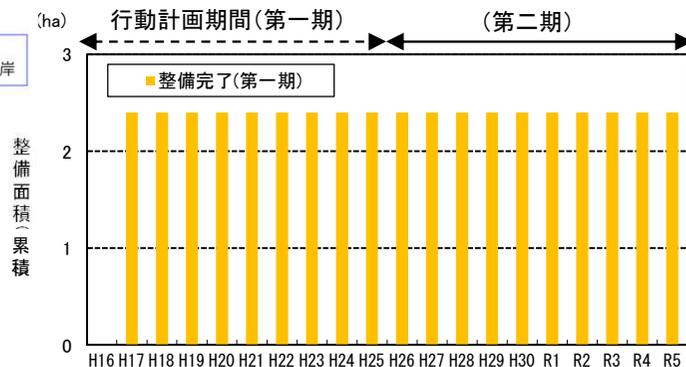
【藻場】(累積)



【干潟】(累積)



【浅場】(累積)



Ⅱ 重点的な取り組みの成果

1. 夏季底層DO改善対策強化等

- 令和5年度は阪南2区沖窪地において大阪港の発生土砂及び武庫川の河川土砂の受け入れ、阪南4・6区沖窪地においては和歌山下津港の発生土砂の受け入れを実施した。
- 港湾及び河川からの発生土砂を窪地の修復に活用した。

2. 学校教育等との連携

- 大阪湾再生行動計画の取り組みを支える将来世代の育成を目的とした「大阪ベ이스クール」を11月18日(土)に開催。阪神地区の高等学校(4校)の生徒が参加、環境調査体験など大阪湾の環境を知る体験学習プログラムを通じ、大阪湾の環境について様々な視点から考察を行った。



「大阪ベ이스クール」の様子

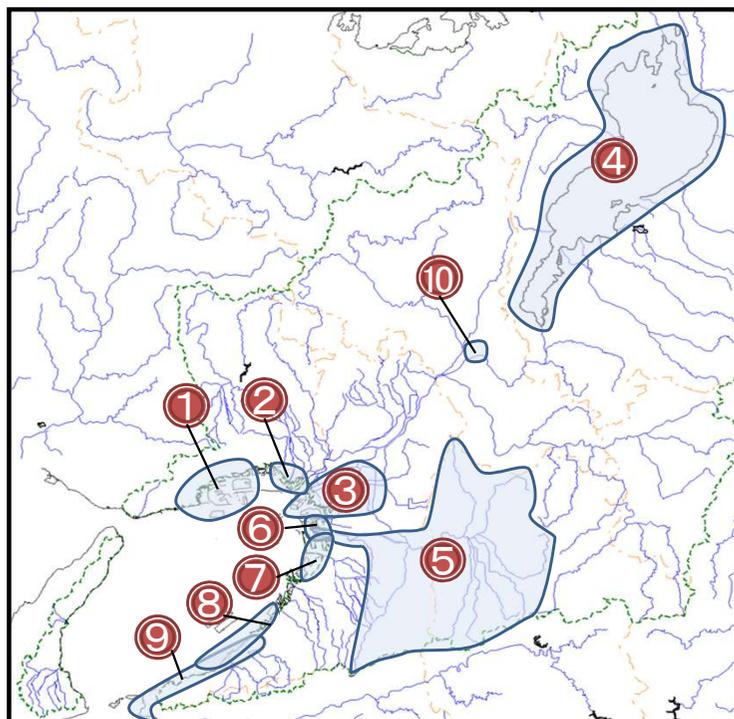
- 大阪湾フォーラムを大阪湾yearsファイナルイベントとして、令和6年3月10日(日)に大阪市立自然史博物館にて開催予定。

3. その他

- Jブルークレジットについて、大阪湾では『「神戸の須磨海岸を里海に」 Suma豊かな海プロジェクト』にて、5.5t-CO₂が発行された。

Ⅲ アピールポイントでの 活動状況

1. アピールポイントの設定状況

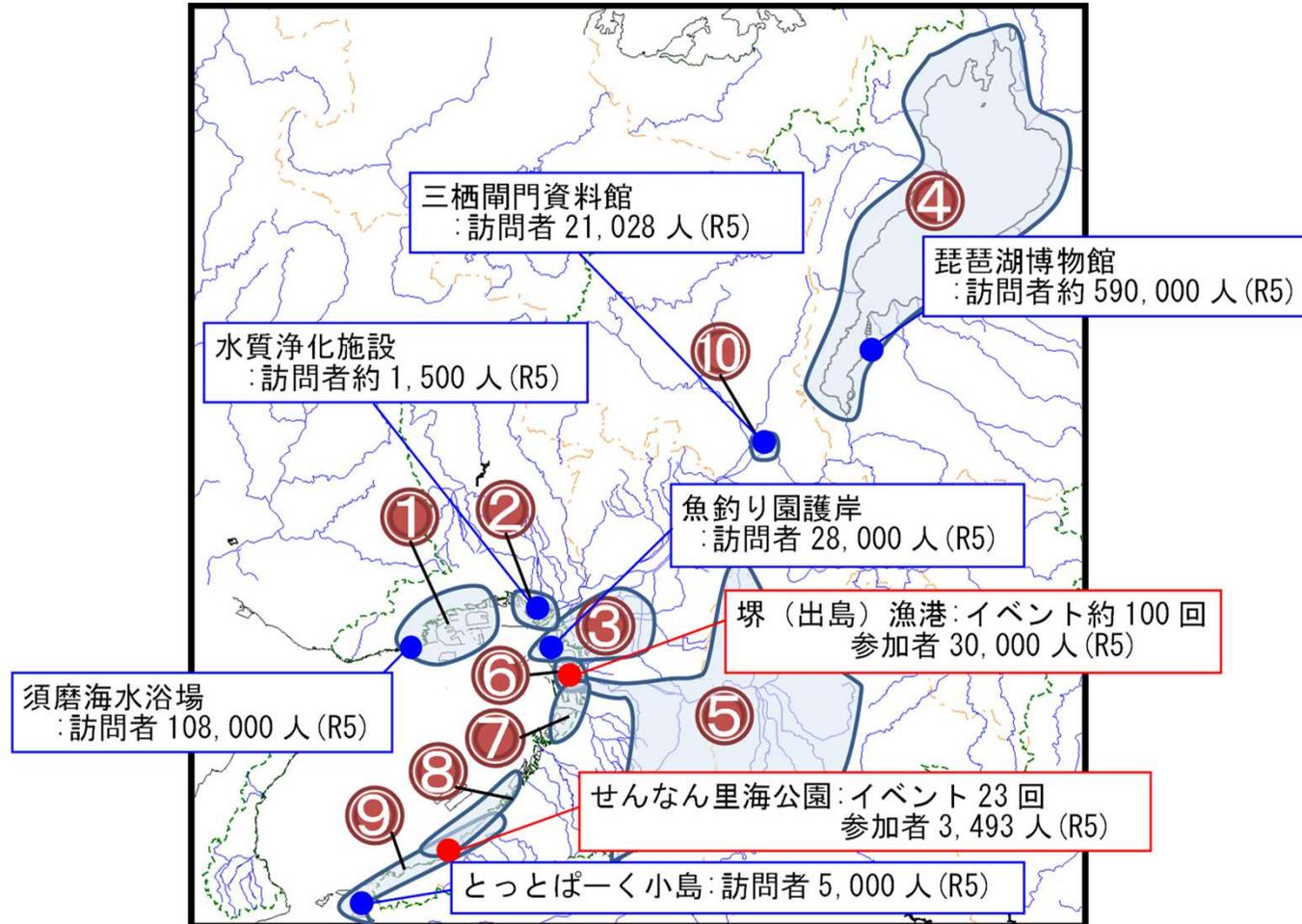


アピールポイント	アピールポイントに含まれるエリア	親水施設等
① 潮風かおる港町神戸	須磨海岸、兵庫運河、ハーバーランド～HAT神戸、ポートアイランド、神戸空港	須磨海岸、須磨海水浴場、須磨ドルフィンコースト、神戸ポートタワー、神戸空港人工海水池など
② 水に親しみ学べる尼崎・西宮の海辺	尼崎運河周辺、甲子園浜周辺	水質浄化施設、尼ロック（尼崎閘門）防災展示室、県立甲子園浜海浜公園など
③ まちなかで水に親しめる水都大阪の水辺・海辺	中之島、舞洲～夢洲、咲洲	中之島公園、人工磯、サンタマリア（周遊船）、野島園臨港緑地
④ 豊かな自然と歴史を感じられる琵琶湖	琵琶湖	アクア琵琶、琵琶湖博物館、水泳場・マリーナなど
⑤ 市民が参加した川づくりが進む大和川	大和川流域（大和川本川・支川）	佐保川水辺の楽校（佐保川小学校前）、大安寺河川公園（大安寺西小学校前）、佐保せせらぎの里（奈良県法蓮町）など
⑥ 海に親しめる多様な場がある堺の海辺	堺浜、堺旧港	堺浜自然再生ふれあいビーチ、堺2区生物共生型護岸、堺旧港など
⑦ 海の恵みを楽しめる堺・高石の漁港	堺（出島）漁港、高石漁港	堺（出島）漁港、高石漁港
⑧ 海水浴やマリンスポーツが楽しめる阪南・泉南の海岸	二色の浜、せんなん里海公園	二色の浜公園、海浜緑地（ジャリ浜）、さとうみ磯浜、箱作海水浴場、せんなん里海公園、淡輪海水浴場など
⑨ 海の恵みを楽しめる泉南の漁港	佐野漁港、田尻漁港、岡田漁港、樽井漁港、西鳥取漁港、下荘漁港、深日漁港、小島漁港、加太漁港	佐野漁港、田尻漁港、岡田漁港、樽井漁港、西鳥取漁港、下荘漁港、深日漁港、とっとパーク小島（釣り公園）、加太漁港
⑩ 水とともに歩いて400年 歴史の転換を担ったみなとまち・伏見	伏見港を核とした伏見地域	三栖閘門資料館、十石舟・三十石船、宇治川流域、ふしみなと（伏見みなと公園広場、伏見みなと広場、伏見港公園）、伏見であい橋

2. アピールポイントの訪問・イベント開催状況

- 各アピールポイントの親水施設等に多くの訪問者が訪れ、多彩なイベントに多くの人に参加している。

<主な親水施設等への訪問状況、イベントの開催状況>



□ : 親水施設への訪問状況

□ : イベントの開催状況

3. アピールポイント毎の状況(その1)

<p>①潮風かおる港町神戸</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 須磨海岸の須磨海水浴場では訪問者数は10万8千人であり、大阪湾生き物一斉調査が実施された。・ 兵庫運河祭や神戸マラソン等のイベントが開催された。 <p>⇒親水施設への訪問やイベントへの参加を通して、須磨や兵庫運河等の環境や生き物について学ぶ機会を創出していくことが望ましい。</p>
<p>②水に親しみ学べる尼崎・西宮の海辺</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 尼崎運河周辺の水質浄化施設では訪問者数は約1,500人(見込み)であり、尼ロック(尼崎閘門)防災展示室のイベントは375人の参加があった。・ 尼崎市立魚釣り公園では釣り大会等、甲子園浜海浜公園では大阪湾生き物一斉調査が実施された。 <p>⇒親水施設への訪問やイベントへの参加を通して、水に親しむとともに防災について知る機会を創出していくことが望ましい。</p>
<p>③まちなかで水に親しめる水都大阪の水辺・海辺</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 魚釣り園護岸では28,000人の訪問があった。・ 大阪マラソンを2月26日に開催し、一般ランナーも含めて約3万2千人の参加があった。・ 大阪・光の饗宴2023では期間中に約2,729万人の参加があった。 <p>⇒まちなかの水辺・海辺空間を活用したイベント等が開催され、多くの参加者を得ている。これらを活用して水に親しめる機会を創出していくことが望ましい。</p>

3. アピールポイント毎の状況(その2)

<p>④豊かな自然と歴史を感じられる琵琶湖</p>	<ul style="list-style-type: none">・ アクア琵琶では訪問者数は約1万5千人（見込み）であり、水辺の匠が開催された。・ 琵琶湖博物館では訪問者数は約59万人（見込み）であり、観察会・見学会等が開催された。・ 琵琶湖では外来魚釣り大会が開催され、参加者数は955人であった。 <p>⇒親水施設では琵琶湖の豊かな自然や歴史を学ぶことができるイベントが開催され、多くの訪問者、参加者を得ている。イベント等を開催していくことが望ましい。</p>
<p>⑤市民が参加した川づくりが進む大和川</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 大安寺河川公園では、大和川一斉清掃と「奈良県山の日・川の日」川の清掃デーが開催された。「奈良県山の日・川の日」川の清掃デーの参加者数は10,519人であった。 <p>⇒清掃活動イベントが開催され、多くの参加者を得ている。今後も清掃活動等により市民参加を促進していくことが望ましい。</p>
<p>⑥海に親しめる多様な場がある堺の海辺</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 堺浜自然再生ふれあいビーチでは大阪湾生き物一斉調査を実施し、参加者数は32人であった。参加者からは「小さい子でも参加できてよかった。」等の意見が寄せられた。・ 堺旧港の史跡旧堺灯台公開イベントの参加者数は480人であった。 <p>⇒親水施設や史跡を生かしたイベントを開催し、海に親しめる機会を創出していくことが望ましい。</p>

3. アピールポイント毎の状況(その3)

<p>⑦海の恵みを楽しめる堺・高石の漁港</p>	<p>・堺漁港ではとれとれ市が開催され、参加者数は3万人であった。ホームページ等を活用してPRを行っている。 ⇒海の恵みを楽しめる機会を創出していくことが望ましい。</p>
<p>⑧海水浴やマリナーレジャーが楽しめる阪南・泉南の海岸</p>	<p>・せんなん里海公園では、アマモ再生活動や海藻万華鏡教室等のイベントが開催され、延べ参加者数は3,491人であった。なお、大阪湾生き物一斉調査には71人が参加し、参加者から「いろんな生き物にあえてよかった。」等の意見が寄せられた。 ⇒親水公園や海浜等の親水施設に多くの人を訪れるとともに、これらの施設を活用した多彩なイベントが開催されている。海水浴やマリナーレジャーを楽しめる場や機会を創出していくことが望ましい。</p>
<p>⑨海の恵みを楽しめる泉南の漁港</p>	<p>・とっとパーク小島（釣り公園）では訪問者数は約5,000人であった。 ・西鳥取漁港では波有手（ぼうで）のカキ小屋が開催され、参加者数は約7,500人であった。 ・下荘漁港では下荘牡蠣直売が開催され、訪問者数は約1,800人であった。 ・漁港では青空市場やふれあいフェスタ等が開催され、延べ参加者数は約35万2千人であった。 ⇒釣り公園では多くの人を訪れ、漁港では市場や祭り等を定期的に行っている。海の恵みを楽しめる場や機会を創出していくことが望ましい。</p>

3. アピールポイント毎の状況(その4)

⑩水とともに歩
んで400年 歴史
の転換を担った
みなとまち・伏
見

- ・三栖閘門資料館では訪問者数は21,028人であった。
 - ・宇治川派流沿いでは宇治川Eポート川下り&とっておき体験や桃山語り部の道桜まつり等が開催され、参加者は延べ約3,100人であり、「宇治川に関する歴史を学ぶことができた。」等の意見が寄せられた。
 - ・ふしみな一とでは、ふしみな一とフェスタ等が開催され、参加者数は4,300人であった。
- ⇒伏見港周辺の水辺空間や親水施設を活用したイベント等が開催され、多くの参加者を得ている。これらを活用して水に親しめる機会を創出していくことが望ましい。

第三期計画においても、
引き続き目標達成に向けた
取り組みを着実に推進する。

